



塔野小学校だより

〈学校教育目標〉豊かな心もち、自ら学び、健康でたくましく生きる子どもの育成

令和5年5月8日発行
北九州市立塔野小学校
文責 校長 大峯 好之輔

ゆっくり本を読む

毎年4月23日は、「子ども読書の日」。「身近に本、気軽に読書」の環境づくりを推進し、幼児児童生徒が積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に、北九州市が市立学校で行っている取組です。

今年は、4月24日に全校で取り組みました。年下の学年の友達に読み聞かせをしたり、各自読みたい本を読んだり、ゆったりと本の世界に浸る時間を過ごしました。ご家庭でも、ゆっくり読書をする時間をもたれてはいかがでしょうか。



ペアで読み聞かせたり、グループで聞かせたりしました。

「ようこそ、塔野小へ！」

2日に、全校児童集会「1年生を迎える会」と「歓迎遠足」の行事を行いました。



6年生と手をつないで入場。大きな手拍子の中、花のアーチをくぐりました。

各学年から、お祝いの出し物がありました。呼びかけや歌、ダンス、劇などから、先輩たちの気持ちが伝わってきました。「おめでとう」の音が何度も聞かれました。

5年生の出し物「とうのん絵描き歌」に合わせて、1年生も指を動かしました。



会のクライマックスでは、塔野小の妖精「とうのん」が登場。全児童のカウントダウンで、大きなくす玉を割ってくれました。



最後に、塔野小の校歌を歌いました。体育館の外にまで広がるような、元気のよい歌声でした。

集会の後は、大平台南公園へ歓迎遠足に出かけました。



6年生は、ペアの1年生と一緒に歩きました。お弁当を一緒に食べ、その後遊びました。



4、5年生は東側の広場を使わせてもらいました。

全校児童が集まり、集会活動や遠足を行ったのは3年ぶりのことでした。顔を合わせて声をかけ合ったり手をつないだりする姿、拍手を送り合ったり一緒に歌ったりする姿を見て、制限が解かれたことをうれしく思いました。「一緒に活動する」を通して、一人一人が塔野小学校の一員としての自覚をもち、よりよい学校にしていこうと考え、行動できるようになってほしいと願っています。

また、遠足では、大平台自治区の方々が、トイレ使用の世話をしてくださったり、道路横断の際に安全確認をしてくださったりしました。地域の方々のご協力に感謝いたします。